

中京女子大学

同窓会ニュース

1990・10・1 No.10

■発行 中京女子大学同窓会

〒474 愛知県大府市横根町名高山55
TEL.0562-46-1291

目次	次
総会のお知らせ.....1	近況報告(新会員).....6
新会員を迎えて.....1	近況報告(卒業生).....8
会長・副会長あいさつ.....2	総会報告(第8回).....11
中京女子大学の近況.....3	平成3年度入試要項.....12
元オリンピック選手を迎えて.....4	

第9回同窓会総会日程のお知らせ

第9回中京女子大学同窓会総会日程が決まりました。今回の総会は、平成に元号も変わり、心新たに気持ちで開催したいと思いますので遠い方、近い方大勢のお友達をおさそいして懐しいひとときを過ごしたいと存じます。万障繰り合せのうえお

いで下さいますようお願い致します。

日時 平成2年11月25日(日)

AM11:00-PM3:00

場所 名鉄グランドホテルメルサ店 11F

☎(052)582-2211

会費 6,500円

交通案内 JR名古屋駅又は名鉄新名古屋駅下車

“九州支部会発足”

去る8月29日(水)、熊本市交通センターにおいて開催。発起人、児島文・内山美佐子・木下田鶴子さん等を中心として、各県はもとより特に長崎県から4人のお子さんをつれて、出席された卒業生に感動させられた。

ど、最後にこれを期に各県支部を充実させるようにと、力強い言葉で閉会した。

九州支部長 古閑久子(昭11年度家体卒)

副部長 田口幸穂(昭41年度短体卒)

〃 西岡富美子(昭43年度短体卒)

九州支部連絡先

熊本県保田窪本町字新一本松821-33

国際療術学院熊本研修センター所長 西岡富美子

TEL 096-383-6501



この発足にあたって、児島文さんより、オブザーバーとして、依頼を受け溝口も、出席させていただきました。卒業生や、大先輩との語り会は、家族的な雰囲気の中、時間の過ぎるも忘れるほ

新会員を迎えて

昭和63年度新会員数		平成元年度新会員数	
体育学部・科	83名	体育学部・科	87名
家政学部・科	36名	家政学部・科	57名
家政学部・児童学科	17名	家政学部・食品・栄養学科	26名
短期大学部・科	86名	短期大学部・科	102名
短期大学部・家政学科	83名	短期大学部・家政学科	70名
合計	305名	合計	342名



ごあいさつ

会長 高橋 知予子

(昭和33年度体育科卒)

例年になく猛暑の長い夏も終り人々の待ちのぞんだ秋がやってまいりました。会員の皆様にはこの酷暑お変わりなくおすごしていらっしゃいましたでしょうか。この1年間は我が国はもとより世界中の大変動の年でもあり、新しい時代に大きく生れ替る時でございました。我が中京女子大学におきましても平成2年4月12日にはかつて中京体専陸上の黄金時代を築かれた大先輩が御来校になり、「オリンピック出場の先輩をかこんで」という

タイトルのもと、学長をはじめ諸先生、児島文先輩、山内リエ先輩、吉野トヨ子先輩を囲み会場いっぱいの後輩と共に交流が持たれ種々貴重な体験談を拝聴しました。創始者故内木玉枝先生の墓前にも参詣しお別れいたしました。諸先輩のいついまでも御健勝であられることを心よりお祈りしますと共に皆々さまの御健康と母校の発展をお祈りいたします。



同窓会ニュースと私

副会長 福江 昭子

(昭和29年度家政科卒)

過日の「同窓会ニュース」No.9に東海福祉専門学校教頭の兼子邦子先生の「卒業後の私」と題した施設教員養成の意気込みについての文章を非常に興味深く読まさせていただきました。何故興味があったかと申しますと、昨今の社会状況を反映して私の研究対象に、要介護老人の衣服が加わり、昭和63年度には東海学術奨励会の研究員に選ばれ要介護老人のよりよい衣服を求めていた矢先で、その道の多くの専門家と接して知識を得たいと思っていたからです。

はからずも、一度お目に掛りたいと思っていました兼子先生にお会いすることができました。そのいきさつは、兼子先生ご勤務の東海福祉専門学校が国家資格である「介護福祉士」の取得ができる学科を新設されることになり、兼子先生が中心になり認可準備を進められ、その非常勤教員スタッフの一部を母校中京女子大学の恩師溝口百合子先生に依頼されました。そこで、その道の研究

をすこし手掛けているということで私のところに、お話がまわってきました。新設学科で教えるというのはなかなか機会がないことですのでお引き受けしまして、開講と同時のこの四月から新幹線で週一回通っています。

どこの学校でも学科新設は神経を使うもので、兼子先生も文部省や厚生省へ何度も足を運ばれたり、我々非常勤教員の研究歴や教育歴の膨大な書類作りを夜遅くまでされたのが手にとるように解りました。そのご努力の末、国家資格の「介護福祉士」の得られる日本では数少ない専門学校に築きあげられました。

以上のようなことから、母校中京女子大学の関係と私の研究活動の絡み合いで、同窓の輪が広がったような気がし、同窓生の縦・横のつながりの重要性を感じた次第です。



中京女子大学は今

中京女子大学
中京女子大学短期大学部

学長 谷岡郁子

内木玉枝先生が「良妻賢母」教育を旨として、学校を建てられてから85年になります。あと10年で21世紀を迎えます。平成4年には18才人口はピークに達します。本学は今、魅力のある大学として歩む為に努力を続けております。

この4月から、体育学部体育学科の定員を50名から100名に定員増を行いました。立派な社会の指導者として送り出すために、スポーツ科学コースと生涯体育コースにわけて、教育をすることになりました。大変責任が重いわけです。

児童学科も改組して定員50名に幼稚園・小学校の免許状が取得できるようになりました。

これからの行事としては、アジアで随一の名門である梨花女子大学校と姉妹校提携をし、昨年は梨花女子大学校からバスケットボール選手の朴順英さんが留学し、本年3月帰国しました。今年はアマチュアゴルフで新聞紙上を賑わせている元

載淑さんが留学中です。本年8月13日から10日間、本学のバスケットボール部の部員が梨花女子大学校で合同練習を行います。

また7月16日から8月14日までの30日間、カリフォルニア大学サンディエゴ校による語学研修とマリンスポーツ体験研修旅行に出かけます。(团长朝山正己教授)

さらに9月19日には北京で開催されますアジア大会に40名程度の予定で教職員・学生などでツアーを組み出発し、9月22日の開会式に出席するつもりで準備をすすめています。これは北京体育学院との交流を計画している為です。

次に本学にふさわしい大学院についても検討しております。アジア学についてもその充実に努力しております。

最後になりましたが、同窓会のご発展を心から祈念してやみません。(6月期)



オリンピック出場の先輩をかこんで

中京女子大学

教授 川島虎雄

平成2年4月12日(木)第3限のスペシャルプログラムの時間に、昭和11年ベルリン五輪の円盤投に出場した児島文先生、昭和27年ヘルシンキ・オリンピック大会で円盤投第4位入賞の吉野トヨ子先生、走巾跳、走高跳などで元日本記録保持者であり、幻のオリンピック東京大会の出場候補であった山内リエ先生を迎えて講演会を開きました。当日、本学学長始め教職員学生約300名が参加し、先輩の話しに感激し、つよい印象と感銘をうけました。

学生の心に焼きついたお話しの内容について、学生は次のようにのべています。児島文先生の「死の淵をのぞきこんでみたものでなければ、人生の生きている喜びや意味を知ることには出来ない」「誠実、努力、忍耐」「勇気もち、なんでも挑戦し、失敗しても、やり直せるのが若さ」という言葉。

吉野トヨ子先生の「気分と意志」先生は「出来ることなら意志を取るべきだ」といわれたことなど、山内リエ先生の「守・破・離」すなわち、常に基本を守り、前のものを破り、こだわりから離れるという原則を大切にしてほしいとおっしゃったことなどをあげています。そして、先輩方のように、人生の金メダルを堂々と胸にかざれるような立派な女性になりたい。ひとつのことをやりとげる信念が意志であり、努力があれば、能力は限りなく伸びるものと思われま。等々多くの学生がこれからのクラブ活動のすごし方に対して、生き甲斐をもったようです。

お忙しい中を本学にお出で下さいまして、貴重な体験談を話して下さいました3先生に心からお礼を申し上げます。また、次回にもお話しをしていただきたいと思。います。

元オリンピック選手母校を訪問して



母校を訪問して

児島文

(昭和11年度家事体操専攻科卒)

念願の母校訪問が実現した。

女子大開学以来、初の訪問である。

ご挨拶とキャンパスを眺めたいだけの目的であったが、大学に思わぬ迷惑をかけてしまった。体育施設・設備を主にご案内頂いたが、特に印象が強かったユニークな体育館もさることながら、広い視野の国際交流の実践活動までに至る母校の充実振り等を観閲し、昭和初期に学んだ私共の時

代とは対比し難い現学生達の幸せをそぞろ思うことであった。

その後輩達200人と集団面接の時間をもち得たことで新たな母校意識が沸いてきたことも確かである。重要と思われる大学の部分的内面については無知のそしりをまぬがれないがともあれ21世紀を担う後輩達の更なる幸せと、母校のより民主的発展を祈らずにいられない。



不易のことば

山内リエ

(昭和13年度家事体操科卒)

唐突な書き出しですが、私は幼ない頃「努力は天才である」という標語がいたく気に入って、以後、これをモットーに生きてきました。当時の教育環境は皆さんには想像もつかないほど、貧困、劣悪で、教育者としての基礎教養はお恥かしい限りでした。しかし人後にも落ちず、大過なく今日到ったのは、あの標語を肝に銘じて生きてきたからだ、と、自負しています。

過日機会を得て何十年ぶりに母校を訪問し、すばらしい設備、環境、充実したスタッフの先生方におめにかかり、つくづく皆様がたが羨ましくなりました。この恵まれた環境に育まれ、社会人となられた皆さん、恵まれているからといって、決して安堵は許されません。21世紀を目前にして世界はめまぐるしく変化しています。これに対応するには私たちが直面した以上に「努力」が必要です。努力ということばは、どうやら、いつの時代にあっても不易の「指標」のようです。但し、これは「根性論」ではありません。



母校を訪問して 思い、想うことは

吉野トヨ子

(昭和13年度家事体操科卒)

春愁のある日、児島文先生のお供をして母校訪問した。

故内木玉枝先生ご存命の折大府市に学舎建設途上一度お訪ねしたことを想い浮べつ、構内をご案内していただいた。

多様な価値観から自らの意志で、将来を判断、選択し、知性に富む創造性豊かな資質向上に励む後輩達が実に印象的でした。

数年前旅行の帰途、名古屋駅で夕刊をもとめた。名大の梶田先生が「学ぶこと、教えること」その心理学的背景と題し連載しておられたが、「天才」には三つの特徴がある。その一つは「知性」二つには、熱中すること「忍耐力」がいる。目標を決めたら徹底的集中し、つらいことも耐えぬいて最後まであきらめない。等が記述されてあった。

知性を求めて向学心、情熱、意欲、気力旺盛、可能性を確信してあくことを知らず耐えぬく追求心等は一人天才に限らず、吾々凡人は、その数倍の努力が必要ではないだろうか。

後輩の皆さん初心忘れず邁進し、学生の本分に徹してほしいと念じつつ母校に別れをつげた。



(1) 児島文大先輩



(2)



(3) 大先輩入場拍子で歓迎



(4) 真剣に大先輩の話を聴いて



(5) 同窓会より花束贈呈



(6) 大先輩と同窓会役員



(7) 若き頃トレーニングにはげんだ懐しい鶴舞グラウンドにて



(8) 故内木玉枝先生の墓前にて

新会員の声



教壇に立ち思う

安藤しづえ

(平成元年度
家政学部食品・栄養学科卒)

この春、若き学友達とともに4年間の大学生活を終え、母校でもある昼間定時制の高校で非常勤として教壇に立っています。この高校の特殊性として、ほとんどの生徒は中学時代、非行・低学力・病弱体質などで登校拒否をしてきた生徒たちです。

ある時、「先生、その年になってどうして大学へ行こうと思ったの。だって、3人の子供は小さかったんでしょ。一番手のかかる時でしょ。」と数人の

女生徒が質問してきました。世間で「落ちこぼれ」と評価されるこの生徒達に共通する点は「親の特に母親の愛に飢えていること」と聞いていた私は、自己満足のために自己本位に生きている自身を暗に批判されたようで、一瞬答に詰まりました。しかし、「ここで、貴方達と勉強するためよ。」と自然に出た言葉にやっと、自身の目的を見いだしたようで嬉しくなりました。

人は誰も、人に認められたい。学びたいという向上心を持っています。彼等は、私を同類の先輩として注視しているように思えます。私が彼等との授業を心待ちにするように、彼等にも心待ちの授業となるよう努力していきたいと思っています。



教師となって

郡 美奈子

(平成元年度
体育学部体育学科卒)

4年間の自由な学生生活を終え、重大な責任を負った教師となってから、はやくも2か月がたとうとしています。

学生時代、こういう教師になりたい、保健体育をこうして生徒に教えたい、とたくさん夢を語り合いました。

しかし、現実に教師となった今、保健体育以外に担当することになった教科のこと、担任する学級のこと、それ以外の雑務などに追われて、そんな夢を少しずつ切り捨ててしまっているようです。

もう一度、初めの気持ちに戻って頑張っていきたいと思います。



私の近況

中村仁美

(平成元年度
家政学部児童学科卒)

同窓会会員の皆様には、仕事に、家庭にと充実した日々をお過ごしのことと思います。

さて、私の方は、今年の3月に大学を卒業し、4月から、浜松市の和地小学校に勤務しております。

す。2年2組の30名の子ども達は、よくなつてきてくれて、教師になった喜びもひとしおですが反面、担任としての責任の重さをひとしと感じています。子どもをまとめていくのは、思っていた以上に大変なことで、指導の難しさ、厳しさを実感しないではいられません。これからも健康第一で「子どもが好き」という気持ちを大切にしながら、子ども同士で助け合い、共に高め合っていくクラスにしようと努力していきたいと思っています。

オリンピック出場の先輩をかこんで

体育学部体育学科4年(陸上競技部 主将)

森下由佳

中京女子大学、陸上競技部の歴史を感じたと同時に、こんなに素晴らしい先輩方がいた事に驚きました。

現在の私達が練習している環境に比べ、先輩方頃の恵まれなかった環境の中でも選手として素晴らしい活躍をされ、又、成績も残されたという事は、大変な努力を想像しました。

その努力は、私達の想像している以上のものだったのでしょう。

3人の先輩方のつらく、苦しい思い出……

しかし、陸上への情熱、好きだという気持ちが伝わってくるようでした。

私自身、同じアスリートとして、生意気かもしれませんが、良く理解する事が出来ました。けれど、考え、反省させられる事の方が多かった講演会でした。

何年、何十年か後、私も、先輩方のように、目を輝かせて、陸上競技について話しが出来るようになれば幸いです。

短期大学部 体育学科 2年(陸上競技部)

内山恵美子

オリンピックに出場された先輩方が、母校である我が中京女子大学に来られたのは、平成2年4月12日のことでした。この日のお話は、今でも大変心に残っています。

一番私の心を動かされたお話は、「実技の授業があったなら、その実技をトレーニングとして、一生懸命行



私の抱負

柳 めぐみ

(平成元年度
短大・体育学科卒)

大学を卒業して2ヶ月余り過ぎましたが、現在はスイミングインストラクターとして働いています。今はまだ、研修中ということで、先輩方の

アシストとして、親子、子供、大人のスクールに入り、それぞれのスクールに応じた説明の仕方や指導の仕方を勉強しています。ここで指導の基礎をしっかりと身につけ、その上で自分にしかできないようなスクールの雰囲気作りをし、さらに、ただ教えるという事だけでなく、生徒同士又は指導者とのコミュニケーションを取り合いながら楽しく、充実した指導が出来るように努力していこうと思っています。



2年ぶりに 帰国して、今 堀川 真美

(60年度体育学部体育学科卒)

今年1月スリランカから帰国し、2月から再び中京女子大学事務局学生課に勤務し、現在に至っております。

私はスリランカで2年間、青年海外協力隊員として軽犯罪者の婦人用更生施設で体育全般を指導してまいりました。

スリランカでは、外出禁止令が出されたり、乞食や路上生活者がいるコロomboの街を歩くたびに、平穩無事で一生懸命働けば最低限度の生活ができる、日本の豊かさを何度も思い浮かべたものです。また、私の生徒たち(施設の収容者)は社会からキック・アウトされた子ばかりで、愛に飢え、自分の生い立ちを悲しんでいても、精神的にたくましく、人のいい子ばかりでした。私が自信を失い、悩んでいた時、勇気づけてくれたのも彼女たちの優しさと笑顔でした。悪戦苦闘の2年間でしたが、人間のすばらしさを学んだように思います。

そして2年ぶりに帰国し、日本に住んでみると、一見とても豊かで自由な国のように感じられますが、現実はそのような気がしません。ODA、GNPでは世界の頂点に立ち、各種のOA機

われた”ということです。先輩方にとっては、それはあたりまえの行動だと思うのですが今の私達ならば、その様な行動をするどころか、考えることもないでしょう。やはり、何事にも真剣に考え、打ち込まれたのだからこそ、“オリンピック出場”という輝かしい成果が得られたのだと思います。

今の私達には、環境のとのった練習場があるにもかかわらず、一番大切なことを忘れてしまいそれを生かすことができない様に思えます。

先輩方のお話によって、もう一度初心にもどり、自分自身を見つめ直すことが必要ではないかと思いました。

体育学部体育学科3年(陸上競技部)

国吉 睦子

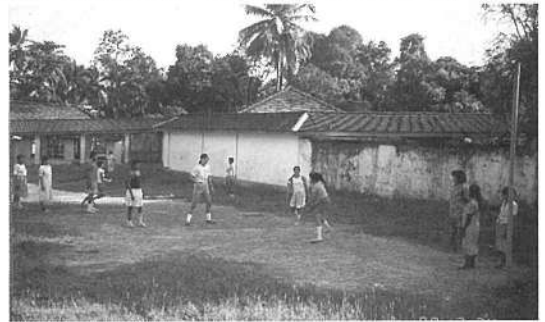
去る4月12日、私達の先輩でもあり、オリンピック

器、電化製品、高級車で溢れんばかりの生活をしていながら、国民は税金に追いまくられ、日常生活においてその豊かさが感じられないのは悲しいことです。

果たして物質的に恵まれているから、幸せなのでしょうか?真の豊かさとは何によって崩れることのない、心の豊かさを求めていく時自身の心の中に築けるものと私は思います。そしてスリランカで得た経験をこれからの人生の糧とし、したたかに自らの可能性を信じ、自分らしく悔いなき人生を歩んでいく所存であります。

同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか?近くにお越しの際は是非ご一報ください。喜んで学内を案内させていただきます。

最後に母校のさらなる発展と、みなさまのご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。



施設内でのネットボール練習風景

出場ともなった先輩方の講演が開かれました。皆、激動の昭和に育ち、厳しい情勢下の中で、陸上をやってこられたアスリートの人達で、その頃は、今日の社会のように、何もかもがそろっている時代ではなかったそうです。そのような環境の中を、陸上に対する熱意と努力とで、克服したが為、それぞれが日本記録樹立、アジア大会出場、オリンピック出場という素晴らしい成績を収めた事だと思います。

私も現在、陸上部に所属していますが、過去にこのような先輩方がいた事を誇りに思うと同時に、今の時代、何事にも恵まれていて、その環境の中で育っている私達は、今回の先輩方の講話を参考にこれからの競技に対する意欲も、強くしていくことだと思えました。

卒業生の活躍



今後も 社会参加を積極的に

太田昌代

(短体35年度卒)

光陰矢の如し、学窓を出て早、三昔となりました。当時中区東新町の学舎へ、バス、電車、地下鉄と乗りついで一日も休まず通ったものです。保健体育科に学び、その後恩師のお推めで母校の教鞭をとることになりました。毎年三年生の受け持ちで卒業生の進学、就職の世話などよく骨折ったこと、嬉しかったことを覚えています。体育祭や文化祭又テレビ出演のための練習、皆懐しい思い出の数々です。家庭に入っても、子供をおんぶとだっこで講師に出かけて居りました。たまたま岡崎市の教育委員会へこども女子体操教室の開設を申請したところ、許可となり、元気な子供達とた

のしく時間を過しているうちに、いつしか30年という永い年月が経ち、我乍ら驚いています。この度、その間の努力と指導が認められ、お陰様で県より表彰を受け、式に参列の光栄を得ました。これも皆様の御親切な御協力とお導きのお陰と心より感謝致して居ります。現在は、2人の息子も成長し社会人となりましたので少しでもお役に立てばと思ひ同窓会事務局に通って3年が来ようとしています。溝口先生を始め数人の同窓生の先生方がいらっしゃいますので、ぜひ母校へお立寄り下さって、昔懐しいお話に花を咲かせて下さい。お待ちしております。

障害児教育にたずさわって

森見恭子

(短家37年度卒)



「もーチェンセ、もーチェンセ アッチ は・や・く、は・や・く」片言まじりに大声をあげるAちゃん、「はーいここよ、どうしたの」廊下に出て見ると、動けるようになったYちゃん、右足をふんばって車椅子を移動し運動場に出ていく。段差があるため危険を知らせてくれるAちゃん。「ちょっと、まった、あぶないでしょう」、「もー先生に言ってから行くの」昼休みの一こまである。連絡帳を書いている間の出来ごと、目が離せない。

耳が聞えず左半身軽マヒ、左手は細く力は弱い。左足には補装靴のAちゃん、かわいい顔、優しい心と若い先生に恋心をいただく花の中三女子。自分で立つ事もできず話すこともできず、左半身マヒの負けん気強く意欲十分、やろうと思ったら必ず挑戦するYちゃん、動く右手、右足を必死につかっ

て中二の終り頃より車椅子を自分で動かせる様になった。うれしいのでしょうか。思うところに行ける、少々ぶつかろうが、あぶなかりうが、やってみる、度会の暴走族・いい名前がついた。緊張強く声を出そうとすれば口元が固くなる、そんな口で「もー」Yちゃんが初めて私を呼んだ時、思わず抱きしめて、重い障害を背負い人様の助けを借りなければ生活できない。生きるきびしさを、つらさを苦しさを人の倍も三倍も小さい体で黙って受けなければならない子どもたち、「がんばってやるの、誰も助けてくれないの、あなたの体よ」「もう一度やってみな、力をぬいて、もう一度」一人で出来る事が一つでもふえてほしい、ひもじい時は自分で手を出して食べてほしい、そんな私の願いがきびしい指導に言葉に変わってしまう。「今やっている事を一生懸命やりなさい、よそ見しない」今日も大声がとぶ、学生の頃溝口先生に「今やる事をよく考えて今やることを一生懸命やりなさい」教えをそのまま子どもたちに伝えている私、「ミゾグチ、チェンセ、くる、あした」明日は春の小運動会である。

障害児教育にあたたかいお心を下さった溝口百合子先生。この遠い三重の田舎にある養護学校を何度もたずねて下さいました。中京女子卒業生2名元気に頑張っています。



子育ての中で、学校体育と 社会体育にたずさわって

植 屋 節 子

(短体48年度卒)

大学を卒業して早16年がたちました。長女(小6年)の出産を機会に高校の教員を辞め、長男(小3年)が幼稚園に入るまでを、子育てに専念致しました。常々、主人から子育てに手が掛からなくなったなら、自分の生き方も大切にしないと云われていましたので、この時期を、社会復帰への充電に当てていました。新しい知識を得るため筑波大学助教授芳賀脩光先生に「運動処方学」を学び、主人には研究の手ほどきを受けました。幸い、子育て中に主人に教えて貰いながら手がけた子供の研究が、日本保育学会で認められ(第36回日本保育学会賞「倉橋賞」を授与)、これは、自分自身にとって、社会的自立に向けての強い励みになりました。

今では、家事の3分の1は娘と息子が手伝って

くれています。我が家の朝は早く、朝6時30分には、おはようございますと、全員が顔を揃えます。朝食の後、それぞれお互いの日程と役割分担を決めて我が家の一日が始まります。

現在、私は医療系の学校で体育を教え、他方職域、地域の場で社会体育の指導に携わっていますが、こうした場で、活躍できますのも、主人と2人の子供の理解と協力があればこそと思い、日々を感謝しています。他の家庭より遅ればせの夜の食事時に子供と一日の出来ごとを語らう時幸せを感じています。

最後に、中京女子大学の在学生・卒業生・教職員の皆様方の益々のご健勝とご発展をお祈り致します。



夢 は 大 き く

佐 藤 すゞ子

(短体39年度卒)

バスケットが好きでバスケットを通じて、青春を謳歌し、短期大学部体育科を卒業し、私立高校体育教諭を一年勤めましたが、その年の11月父を癌で亡くし、6人兄弟の長女である私は翌年に退職し、うなぎ屋である家業を手伝うことになりました。

商売屋をけぎらいし、教職をめざし進んでいったのですが、自分の意志とは反して、決めた道へと進むことが出来ませんでした。

うなぎ屋を手伝いながら美容体操のインストラクター、幼稚園の先生など、いろんな勉強もさせてもらい勝手なことをさせてもらいましたが、父をなくしてその後、母と妹達で始めた、お好み焼屋を手伝うことになり、そこで感じたのは、皆が汗だくになり働いている姿を見て、嫌い続けてきた商売に、自分も一緒に、汗を流すことにしました。

商売に対しての無器用さは、妹達との力の差が、

目に見えてつけられていきました。私は、商売でのフットワークにかけようと思い、まず調理士免許を取り、店の板場さんに付いて魚のおろし方、調理のコツを勉強し次に芦屋にあるフランス料理店にも足をはこび、マダムに付いて学んだことは、自分で、市場に行き、材料を見て、調理し、お客様を接客する、このマダムに感動し、いつか自分の感性を思い切り出せる店を持ちたいと、ひそかに決めていました。

陶器を集めたり絵を観たりすることが、好きで、集めてきた、古骨の器や絵を使って、お箸で、食べられるユニークな、フランス料理店を持つこととなりました。

商売をけぎらいしてきた、私自身も mismatch なので和食器でフランス料理が、 mismatch ならば、屋号も思い切り mismatch な グリル うふ久の屋号でオープンいたしました。今年6年目の夏を迎えております。

クラス会の様子

輝ける我が級友会

(昭和30年度体育科卒)

昭和31年卒業の年に第1回同級会を開催し、平成2年7月28、29日(一泊二日)、岐阜市の同級会をもって第35回を迎え、感無量の喜びでありました。この同級会を今日まで継続出来たのも一重に現同窓会副会長の上梨敦子さんの温かいお人柄につきるものであります。こうして、子育てを終え孫を迎え大勢の仲間や大家族が集合しお互いの健康を喜び、幸せに感謝して積もる話に時間の

過ぎるのも忘れる程。惜別の念にかられながら、平成3年福井市での再会を約し帰路に着く。このことは青春の真ただ中、志を一にした固い絆の輪が、東西南北に、悩み苦しむ友あれば、かならずや助け励げまして今日至っている級友会であります。

最後に38名の級友のなかで、他界されたお二人のためにご冥福をお祈りします。



はたち会

大府市立石ヶ瀬小学校 片桐勝子

(短体39年度卒)

四十路を過ぎ、ふとあたりを見回すとなんだか自分一人が取り残されているようで、妙に心淋しく思え、人恋しさが募った時期に結成したのが「はたち会」です。

平成元年7月のある日、3回目を「うな久」という懐石風フランス料理店で開催しました。

出席者は、大体、短体で25名程集まり、恩師溝口先生を囲み、時間の経つのも忘れるほど話がはずみました。

その中の一人として出席した私は、短体を40年度に45名の仲間とともに卒業しました。

以来母校近くに住んでいる為、幹事役を引受け

ています。

同窓会名簿が多くの方々の協力と援助で発行され同級生の健在を知り、やっとの思いで38名の消息を捜しあてることができました。

「はたち会」の名称は、20年ぶりの再会で20歳のあの頃に返って、話がしたいという願望から生まれたものです。

大学が見たい、恩師に逢いたい、友とおしゃべりがしたい、諸々の要求が満されたかどうかは定かではありませんが。

スポーツ・サイエンス・センター内で記念写真におさまったみんなの顔は、満足気に見えました。



「グリル うな久」名古屋市中区錦二丁目16-16 金春ビル2F TEL052-202-0828 卒業生 佐藤すゞ子宅



上 第8回中京女子大学同窓会総会（スポーツサイエンスセンター〔健康の女神〕）

下左 同 同窓会新役員の皆さん

下右 上 卒業生のジャズダンス

下 在校生のリズムなぎなた

平成3年度入試要項

■入学定員

体育学部	体育学科	100名
	(スポーツ科学コース・生涯体育コース)	
家政学部	児童学科	50名
	食品・栄養学科	50名
短期大学部	体育学科	100名
	(スポーツ・ヘルスデザインコース)	
	生活科学科	※臨時定員増150名申請予定
	(生活科学コース・生活デザインコース・生活情報コース)	

■入試区分と入試日程

区分	学部	出願期日	試験日	試験場	合格発表	入学手続日	
推薦入試	特別 体育系のみ	2年10月8日(月) ～10月20日(土)	10月28日(日)	本学	11月1日(日)	2年11月26日(月)まで	
	一般 全学	2年11月1日(日) ～11月30日(金)	12月9日(日)	本学 ※那覇	12月15日(土)	3年1月11日(金)まで	
一般入試	1次	体育学部	3年1月8日(火) ～1月25日(金)	2月1日(金)	本学 那覇 広金 島沢	2月10日(日)	3年2月21日(日)まで
		短大		2月2日(土)			
	2次	家政学部	3年1月8日(火) ～1月31日(日)	大学入試センター 試験を利用		3月19日(火)	3年3月26日(火)まで
		全学	3年2月20日(水) ～3月9日(土)	3月14日(日)	本学		

※一般推薦入試の地方試験場(那覇)は、家政学部のみ。

■お願い

総会に向けて準備をいたしておりますが、総会ご出欠の葉書を第9回総会から発送いたしていません。それは財政事情はもとより、ニュース発送いたしても、かなりの返送が多いことです。このことを含めご理解下さい。尚これ等のことを少しでも解決する方法として皆さまのご協力なくして成立いたしません。住所変更・改姓の折は本部へ、卒年度・学科名・住所・氏名をお送り下さいますようお願い申し上げます。

編集後記

学生の活気ある声を聞きながら、全国の同窓生からの情報収集の仕事に携わってみると、学内卒業生のみならずには勤務の傍ら、同窓会の仕事を助けていただき感謝しております。同窓会の充実を考えた時、専従者の必要性を実感する今日このごろです。(太田昌代)

学章の由来と意味

中京女子大学は名古屋市の隣接して、知多半島の起点の中央部大府市に位置している。この地にはりんどう科の薬草「せんぶり」が自生する。せんぶりはりんどうと同じく漢方の貴重な薬草であり日当たりのよい荒地で清冽な湧き水の流れ出るあたりに生育する。茎は直立し高さ25cm位となり11月あたかも文化の日になんだかのように5裂ないしは6裂の花冠のちいさな花をいっぱいにつける。そのかたちには、文化勲章のたちばなの花のような気品がある。このせんぶりの効用、文化の日とのかかわり、清楚な美しさ、また逆境にもたくましく花開くそんなところから学章としてデザイン化した。

また、6弁の花のかたちは中京の2字を重ね合わせたかたちにもなっている。

秋晴れや せんぶりの花咲きそろう
(紫 泉)